

# 都市再生整備計画（宇都宮中央地区）の概要

本地区は、古くから「二荒山神社の門前町」「宇都宮城の城下町」として栄え、長い歴史の中で伝統や文化を育むとともに、近年においては、商業や業務、居住などの都市機能が集積するなど、栃木県の政治・経済・文化の中心として発展してきた。

しかしながら、大規模集客施設の郊外移転や人口の郊外部への転出などによって、都市機能が拡散し、県都・宇都宮の顔である中心市街地の衰退が進んでいる。

このため、平成11年に「中心市街地活性化基本計画」、平成14年に戦略プロジェクトを示した「都心部グランドデザイン」を策定し、中心市街地の活性化に取り組んできたところであり、平成17年には、まちづくり交付金の採択を受け、さらなる事業の推進を図ってきたところである。

## (1) 計画概要

【地区名】	宇都宮中央地区
【面積】	254ヘクタール
【交付期間】	平成17年度～平成21年度（五カ年間）
【交付対象事業費】	約48億円（国比率40%）
【区域】	馬場通り1丁目～4丁目、中央本町の全部 その他

## (2) まちづくりの目標

### 【大目標】

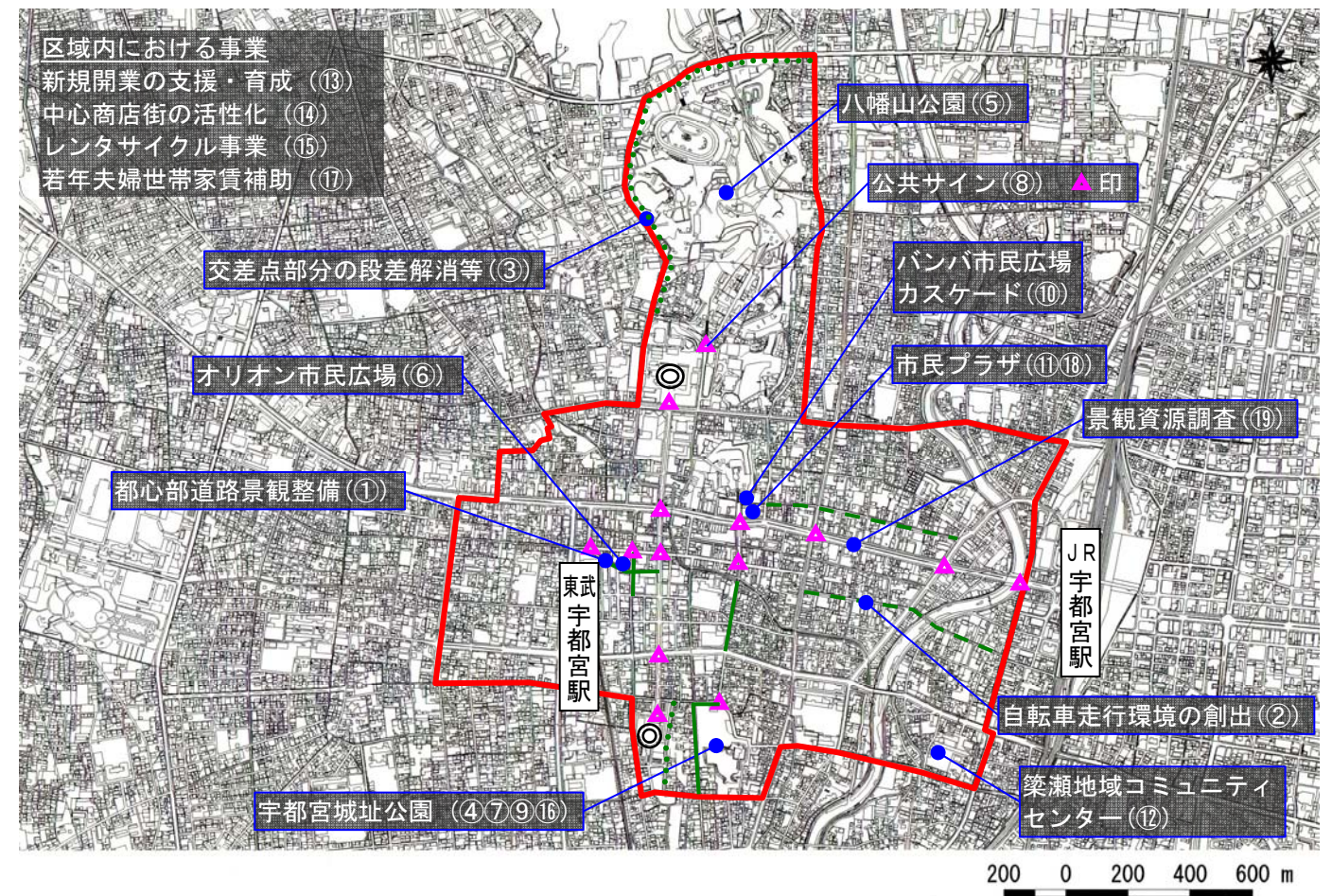
中核都市宇都宮にふさわしい賑わいと高次な都市機能を備えた多様性のあるまち

### 【小目標】

産業が活発に交流し、活気ある都心づくり 宇都宮らしい個性と景観のある顔を持った都心づくり  
 市民が豊かに生活し、交流し合う賑わいのある都心づくり 高度な都市活動を支える都心づくり

## (3) 事業

【道路】	都心部道路景観整備（市道2号線、5号線、6号線、34号線、84号線）【右図①】 自転車走行環境の創出（市道886号線、1137号線）【右図②】 交差点部分の段差解消等（市道240号線、21号線、1号線など）【右図③】
【公園】	宇都宮城址公園【右図④】 八幡山公園【右図⑤】
【地域生活基盤施設】	オリオン市民広場（多目的広場）【右図⑥】 宇都宮城址公園案内板【右図⑦】 公共サイン【右図⑧】
【高質空間形成施設】	宇都宮城址公園緑道修景【右図⑨】 バンバ市民広場カスケード【右図⑩】
【高次都市施設】	市民プラザ（地域交流センター）【右図⑪】 築瀬地域コミュニティーセンター【右図⑫】
【地域創造支援事業】	新規開業の支援・育成（チャレンジショップ事業、新規開業者等相談事業）【右図⑬】 中心商店街の活性化（中心商業地出店等促進事業、魅力ある商店街等支援事業、 中心商店街景観整備事業、広場活用活性化事業）【右図⑭】 レンタサイクル事業【右図⑮】 宇都宮城址公園モニュメント【右図⑯】 若年夫婦世帯家賃補助【右図⑰】 市民プラザ（市民サポートセンター）【右図⑱】 景観資源調査【右図⑲】



オリオン市民広場 (⑥)



市民プラザ (⑪⑱) (表参道スクエアは市街地再開発事業によるもの)



宇都宮城址公園 (④⑦⑨⑯)



中心商店街の活性化 (⑭)  
(写真はイルミネーション事業)



都心部道路景観整備 (①)